

資料 2－2

第 6 回検討会資料

濃度基準値検討物質の初期調査結果

修正案

※ 別紙表中の GHS 分類欄の「区分外」の表記は、JIS Z 7252:2019（GHS に基づく化学品の分類方法）における「区分に該当しない」に相当する。

初期調査結果評価

専門家会議付議日： 2025/9/8→2025/10/27

物質名		塩化亜鉛	CASRN	7646-85-7
詳細調査の要否		<input checked="" type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要		
不要の場合	濃度基準値の提案	八時間濃度基準値 : (単位 :) 短時間濃度基準値 : 4 (単位 : mg/m ³) <input checked="" type="checkbox"/> 天井値		
	根拠論文等	1) CULLUMBINE H. The toxicity of screening smokes. J R Army Med Corps. 1957 Jul;103(3):119-22.		
	コメント	ヒトボランティア（性別、人数不明）に HCE-smoke 混合物（ヘキサクロロエタンと酸化亜鉛、ケイ化カルシウムの混合物による発煙弾）由来の塩化亜鉛を 2 分間吸入ばく露した結果、120mg/m ³ ばく露では咳を伴う鼻・喉・胸部の刺激症状および嘔気が認められ、80mg/m ³ ばく露では大多数に軽い嘔気が、1～2 人に咳が認められた 1)。 なお、80、120mg/m³ は亜鉛換算でそれぞれ 38、57mg-Zn/m³ である。 以上より、ヒトの知見から、軽い吐き気、咳等の刺激症状を臨界影響とした LOAEL を 80mg/m ³ (38mg-Zn/m³) と判断し、不確実係数等を考慮した 4mg/m ³ を短時間濃度基準値として提案する。なお、急性中毒の懸念があることから、天井値とした。		
	その理由	<input type="checkbox"/> レビュー文献間におけるキー論文の量反応関係が、同じ標的健康影響において大幅に異なり、無毒性量等の検討に際して追加の文献調査が必要であるため <input type="checkbox"/> レビュー文献間におけるキー論文のばく露シナリオ・標的健康影響が異なり、今回のエンドポイント設定に際して追加の文献調査が必要であるため <input type="checkbox"/> その他 ()		
その他のコメント				